

東レエンジニアリング西日本は、エンジニアリング、マニュファクチャリング、メンテナンスの3事業を柱とし、安全で高品質な製品を提供できる真の長期安定成長企業を目指します。

滋賀県立北大津高等養護学校 就業体験実習

北大津高等養護学校の生徒さん1名が、機器事業部電製部にて就業体験実習をされました。

今回の実習は10月17日（月）から10月21日（金）の5日間実施され、朝8:30から夕方17:00まで社員の勤務時間と同じ時間、制御盤の製造現場で作業に従事されました。当社の社員と共に、制御盤の扉にパッキンやフィルタを取り付ける作業を担当し、工具も使いながら生き生きとした様子で作業に取り組んでおられました。感想をうかがうと「仕事が楽しい」と話してくださいました。



今回の実習が将来の自立に向けての一助になれば幸いです。

（担当部署：機器事業部電製部 077-534-4739）

東レエンジニアリンググループ「MiniMini大作戦」アイデア賞受賞！

東レエンジニアリンググループでは、経費削減・工数削減を目的に、グループ全体で「MiniMini大作戦」に取り組んでいます。当社でも各サークルが工夫して取り組んでいますが、この度第2四半期の審査において、機器事業部機器部のNewアベンジャーズサークルが、MiniMiniアイデア賞を受賞しました！ 受賞内容について、ご紹介いたします。

ちりつも作戦⑩

Newアベンジャーズサークルは、30年以上稼働している平面研削盤（GS-2）の水溶性研削液の飛散対策をしました。水溶性研削液は、濃縮油を濃度2%程度に水で希釈したもので、砥石とワークの接触面の潤滑性の向上や冷却などの役割があります。

この水溶性研削液が、高回転砥石やワークにかけた際に、ミスト化して舞い上がり、周辺を汚損していました。また、飛散することにより水溶性研削液の回収が悪くなり、濃縮油と水を補給する必要がありました。

そこで、農業用のトンネル支柱で骨組みを作り、ビニールシートでカバーをすることにより、飛散防止対策を行いました。

＜＜問題点＞＞

◇研削液が飛散し、液損失や周辺汚損発生

- ◆高回転砥石、ワークに研削液をかけるため、ミスト化
- 舞い上がり周辺汚損
- 床面滑りによる転倒の危険
- ◆研削液飛散による液損失
- 高頻度に濃縮油や水の補給が必要

＜＜対策と効果＞＞

◇カバーを製作し、飛散防止を実施

- ◆農業用トンネル支柱で骨組み
- 機械可動域干涉防止
- ◆ビニールシートでカバー
- 飛散による研削液損失防止
- 床面滑り防止（安全）
- ◆研削液損失量
- 改善前 59L/日 = **37L**
- 改善後 22L/日 = **損失防止**

eco&清潔

今回の対策によって、水溶性研削液の損失を防止し、職場の美化や安全性向上につなげることができました。今後も設備が古くても出来ることを見つけ、改善していきます。



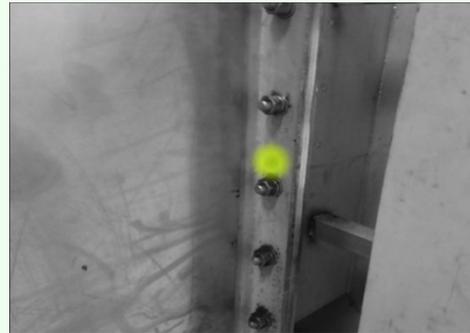
Newアベンジャーズのメンバー



保全事業 豆知識 8 『高性能 超音波エアリーク画像検出器の導入』

設備の定期修理、修理作業後のリークテスト（検収）、稼働中の日常点検時など配管や機器からの漏れ・吸い込みが発生し、トラブルの原因になることや、エネルギーのロスが発生になっていませんか。特に気体(エア、窒素、真空)漏れは目に見えることは無く、箇所の特定に時間を要します。微量な漏れ、屋外ならば尚更です。さらに、高い場所にある配管、機器は広範囲の足場の設置が必要となりロスも大きくなります。

そこで今回、低周波で、離れた位置でも漏れや吸い込みを可視化できる『高性能 超音波エアリーク画像検出器』を導入しました。本検出器は、これまで使用していた検出器よりも性能が高く、検出距離が長い事（～100m）に加え、検出対象の周波数帯が低域まで（約 5KHz ～）検出可能であり微量な漏れ・吸い込みの更なる早期発見による未然防止やテスト検収作業効率 UP などが見込まれます。



検出箇所を黄色で表示

T P M 全社活動報告会 報告事例紹介 10月28日に開催した報告会より、報告事例をご紹介します。

タイトル：『**建設工事、事故・災害の未然防止安全監査について**』

報告部署：安全管理部 Team-S サークル

サークルの Mission：労働災害防止と安全意識の強化のため、**安全監査**を実施

安全監査の目的：安全管理部が直接当該建設工事現場に向いて、監査を実施することで、**事故・災害を未然に防止**

安全監査の実施方法：「工事現場 安全衛生環境防災チェックリスト」に基づき評価し、現場安全管理度 80%以上で合格

指摘事項には、是正・改善を指導！

安全監査の実施基準を 1.9 億円以上から 1 億円に強化

全社で危険感受性向上の取り組みを実施

【類似災害防止】

- ・各サークル単位で 3 件の災害連絡書の根本・本質原因、恒久対策内容を確認・理解
- ・自部署での類似作業を洗い出し、恒久対策どおり作業が行われているか実施状況の確認および未実施作業へ展開

【危険感受性向上】

- ・全作業において必ず作業前 K Y の確実な実施を再徹底
- ・工事安全ガイダンス・工事基本ルール 10 則の徹底

2017,18,21 年
災害発生！

現在
トータル完全無災害 400 日継続中

トータルゼロ災必達を目指します!!